

主催 一般社団法人日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー(ASW)協会関東支部 東風(こち)の会

後援 特定非営利活動法人ジャパンマツク

依存症者の回復を支える 講演&ワークショップ

～治療共同体 Amity(アミティ)に学ぶ当事者の力を引き出す環境づくり～



7月9日(土)13:30～16:30

ウィリング横浜(9階研修室901)

横浜市港南区上大岡西1-6-1

ゆめおおおかオフィスタワー内

参加申込制 定員 50名

参加費 会員 1,000円 非会員 2,000円

依存症支援において、繰り返される再飲酒の過程では、当事者も支援者もそれぞれが将来に不安を感じて、治療のモチベーションを持ちづらくなります。これまでの東風の会研修の参加者や当日アンケートからも「再飲酒を繰り返す当事者への関わり方」に悩む声が聞かれました。その手がかりが、欧米で実践されている「治療共同体」の手法にあるのではないかと考えました。今回の研修会では、入院治療場面、中間施設やデイケアでの継続的な関わり、そして外来の相談援助場面など、支援の多様なシーンで「当事者が変化できる治療環境づくり」を学ぶ機会を企画しました。講師にはアメリカの治療共同体 Amity(アミティ)について現地で学び、そして日本での応用について研究、実践をされているソーシャルワーカーの引土絵未さんをお迎えして、講演とワークショップを開催します。

第1部 講演 13:30～14:30

依存症者の回復を支える～治療共同体 Amity(アミティ)に学ぶ当事者の力を引き出す治療環境づくり～

講師:引土 絵未(ひきつち えみ)氏

(国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部外来研究員)

講師略歴:アルコール依存症の父親の死を契機に精神科ソーシャルワーカーとして主にアディクションの回復支援に携わる。その後治療共同体 Amity で自分自身の回復の機会を与えられ、治療共同体の手法やツールを日本国内で展開することをライフワークとして活動中。同志社大学社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程修了(社会福祉学博士)

第2部 ワークショップ 14:45～16:30

当事者への「向き合い方」～治療環境・治療関係づくりを学ぶ3つのワーク～

講師:引土 絵未氏

コーディネーター:高橋 陽介(国立病院機構久里浜医療センター)

【お申込】: ASW 協会関東支部事務局 国立病院機構久里浜医療センター FAX 046-840-4118

Mail: asw@kurihama1.hosp.go.jp 裏面の申込用紙をご利用ください 締切 6月25日(土)

国立病院機構久里浜医療センター 医療福祉相談室 宛

7月9日「依存症者の回復を支える」
講演会&ワークショップ
申込書(締切6月25日)

FAX:046-840-4118

定員に達しましたら受付終了します(ご参加いただけない場合のみ連絡いたします)

氏名	職種	種別
		会員・非会員
所属機関名		
電話		
FAX		
E-mail		

